

28年目のチェルノブイリから学ぶ

# 3・11後の子どもたち

ビデオジャーナリストの白石草さんと東京学芸大学教育実践研究支援センターは2014年6月にウクライナで「チェルノブイリ後の子育てと学校」について調査を行いました。調査映像を交えた白石さんの講演を手がかりにして3・11後の子育てと学校の課題について明らかにすることを試みます。

2014年 **11月13日(木)** 12:50~14:20

**東京学芸大学**

(JR [武蔵小金井駅] 北口より小平団地行バス「学芸大正門前」)

C401 教室 (定員 200人)

費用無料・事前申込不要・満員時立見有

講師

**白石 草** さん

しらいし はじめ



Our Planet-TV 代表

番組制作会社を経て、東京メトロポリタンテレビジョン入社。

ビデオジャーナリストとして、ニュース・ドキュメンタリー番組の制作に携わる。

2011年に独立しNGOのテレビ局Our Planet-TV設立。一橋大学大学院客員准教授。

近著に『チェルノブイリから学ぶ 一低線量被ばくと子どもたち』(岩波ブックレット)がある。

**主催 東京学芸大学教育実践研究支援センター**

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1 東京学芸大学教育実践研究支援センター1号館

電話・ファックス：042-329-7350 E-mail：omori@u-gakugei.ac.jp 担当：大森直樹(東京学芸大学教員)

後援 子どもと未来を守る小金井会議 / 「教育ってなんだろう？」こがねい連絡会  
国民教育文化総合研究所 東日本大震災・原発災害と学校 研究委員会